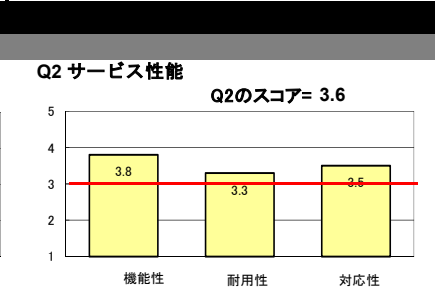
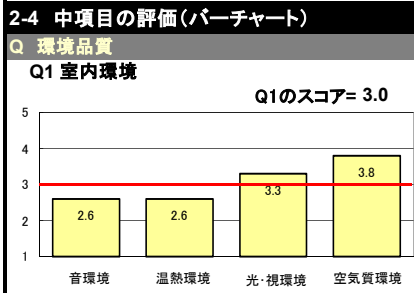
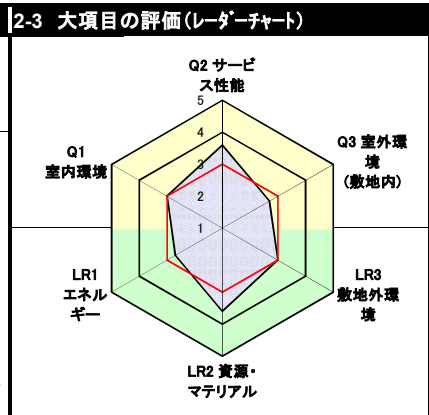
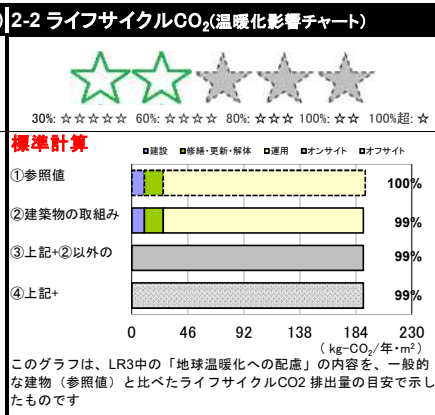
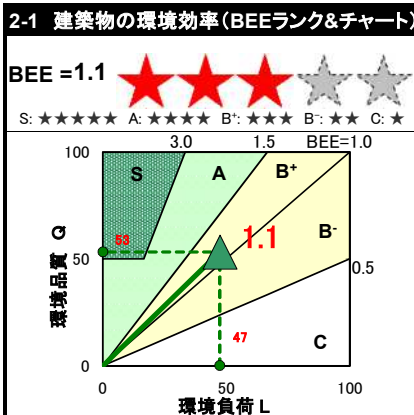


1-1 建物概要

| | |
|------|-----------------------|
| 建物名称 | 横須賀市立総合医療センター |
| 建設地 | 神奈川県横須賀市神明町1番8 |
| 用途地域 | 第一種住居地域、準防火地域 |
| 地域区分 | 7地域 |
| 建物用途 | 病院 |
| 竣工年 | 2024年11月 予定 |
| 敷地面積 | 19,876 m ² |
| 建築面積 | 7,823 m ² |
| 延床面積 | 38,152 m ² |

1-2 外観

| | |
|--------|-----------------|
| 階数 | 地上7F |
| 構造 | S造 |
| 平均居住人員 | 450 人 |
| 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 評価の実施日 | 2024年10月2日 |
| 作成者 | 株式会社伊藤喜三郎建築研究所 |
| 確認日 | 2024年10月3日 |
| 確認者 | 株式会社伊藤喜三郎建築研究所 |



3 設計上の配慮事項

| | | |
|---|--|--|
| 総合 ・室内環境、サービス性能への配慮 ・敷地内外環境への配慮 ・エネルギー性能、資源マテリアルの確保に努めている | その他 ・特に無し | |
| Q1 室内環境 ・高い昼光率を確保・F☆☆☆☆以上、又は規制対象外品・条例により全館禁煙 | Q2 サービス性能 ・各階宿泊部天井高さ2.50m以上・内部空間デザインコンセプト、バース作成・防汚性の高い建材の採用・免震構造を採用し、内部設備保護を図っている・節水型器具の採用、系統の分離・非常用発電・無停電電源設置、重要設備系の受電設備の二重化、精密機械への地下への設置無し・設備耐震クラスAを採用・各階階高3.90m以上・壁長さ比率共用部:0.14・EPSケーブルラック配線を採用 | Q3 室外環境 (敷地内) ・緑地、中高木を設置・景観条例への配慮を行う |
| LR1 エネルギー ・省エネルギー性能に配慮 | LR2 資源・マテリアル ・自動水栓に加え、節水型器具の採用・リサイクル材を多用・LGS地下、フリーアクセスフロアを採用・不活性ガス消火剤を採用・ノンフロン断熱材を採用 | LR3 敷地外環境 ・駐輪場、駐車場、消防用空地、緊急車両用駐車場を確保、駐車場入口に十分な待機スペースを確保・フェリットの一部分を満たす、広告物照明フェリットの一部分を満たす |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される